



となりのママは外国人!?

①

脚本・絵 ピナット

登場人物紹介

鈴木さん…六〇代の日本人女性。世話好きで話し好きの早口おばさん。
マリアさん…来日して日の浅い二〇代のフィリピン人女性。日本語はたどたどしい。ケンくんのママ。
李さん…四〇代の中国人女性。来日して二〇年。日本語の日常会話は困らない。明るく、おおらか。
コウちゃん…活発な五歳児。
恵理さん…三〇代の日本人女性。看護師。思いやりがあり、テキパキした性格。
コウちゃんの母。
田中さん…四〇代の日本人男性。マリアさんの夫。気さくなタクシー運転手。

演出ノート

ある日、買い物に出かけた鈴木さん、道ばたに何か落ちているのに気がつきました。

鈴木さん

「あら、赤ちゃんの靴下だわ」

目の前のアパートのベランダに、ベビー服が干してあります。鈴木さんは、届けることにしました。

ピンポーン！

―― 半分まで抜く――

おそろおそろドアを開けたのは、黒目がちで彫りの深い外国人のマリアさんでした。

鈴木さん

「あのー、えーと、ハロー？ あーくく……」

とっさに言葉が出ない鈴木さんに、「アッ、クツシタ！アリガトウ」とマリアさんは答えました。

この人は日本語が通じる、と安心した鈴木さんは、

―― 抜く――

言葉につまって



②

鈴木さん

「あらっ！ かわいいわねえ。いないいないばあつ。
うちの孫と同じくらいじゃない。
三か月検診はもう済んだの？
予防接種はした？」

早口で

いつものように話し始めました。

マリアさん

「エッ、ヨボー？」

「アノ、チョット、ワカリマセン……」

鈴木さん

「えっ！ わからないって？」

マリアさん

「アノ……ダイジョブ。アリガトウ」

マリアさんは、苦笑いし、ドアを閉めてしまいました。

驚いて

困って

―― 抜く ――



③

鈴木さん

「あらあら、あんなに急にドアを閉めるなんて」

（間）

「表札は『田中』だったから、
ご主人は日本人なのかしら」

（間）

「でも、午前中からカーテンが閉めっぱなしで……。
虐待なんてことはないだろうけど……」

鈴木さんは、だんだん心配になってきました。

―― 抜く ――

独り言が続く

いぶかしむように



④

行きつけのクリーニング店に入ると、受付には顔なじみの李さんがいました。

鈴木さん

「李さん、あのね。
さっき、赤ちゃんの靴下が落ちてたんで届けたら、
ママが外国人だったのよ！」

早口で

『予防接種した？』って聞いたら

早口で

『わからない』って、

急にドア閉められちゃったのよ！」

李さん

「うーん……、鈴木さん早口だから、
聞き取れなかったんじゃないの？」

李さんは、自分も「母子手帳」など、出産や育児の用語が難しく、苦勞したことを話しました。

李さん

「ゆっくり、
やさしい言葉で話したらいいんじゃない？」

鈴木さんは「はっ」としました。

―― 抜く ―



⑤

買い物から帰宅した鈴木さんは、李^リさんの話したことが頭から離れません。

鈴木さん

「失敗しちゃったな……」

あのママ、早口だからわからなかったのか……」

（間）

上の子を育てた時の出来事も、まざまざと浮かんできました。

鈴木さん

「大変だった……」

赤ちゃんの世話も何もかも、初めてのことばかり。外国人なら、なおさらよね」

「あのママも心細いのかも。
今度会ったら、『やさしい日本語』で
ゆっくり話しかけてみよう」

―― 抜く ――

気落ちして

しみじみと



⑥

数日後、近所のスーパーで、鈴木さんはマリアさん親子と偶然、再会しました。

鈴木さん

「こんにちは」

マリアさん

「あ、こないだ……」

マリアさんはすぐに思い出して笑顔を見せます。

鈴木さん

「あの、わたし、す・ず・きです」

マリアさん

「マリアです。このコ、ケンです」

鈴木さん

「ケンくん、おいくつ？」

マリアさん、黙ってしまいました。通じないようです。

鈴木さん

「うーん……。ケンくん、なんさい？」

マリアさん

「ア！ 4カゲツね」

鈴木さん

「そう！ 大きいね。マリアさん、ご出身は？」

これも通じません。

そこで、「お国は？」と言い換えてみました。

マリアさん

「オク？」

鈴木さん

「あのね、くに。く・に、ど・こ？」

マリアさん

「アゝ！ ワタシ、フィリピン！」

鈴木さんは、「くに、どこ？」なんてちよつと失礼かとも思いました。でも、会話が続けて楽しい気持ちになりました。

―― 抜く ―

恐る恐る

明るく

ゆっくり、はっきり

ゆっくり、はっきり

ゆっくり、はっきり

やさしく

とても嬉しそうに



⑦

その日以来、二人は打ち解けはじめました。外で会った時など、マリアさんは困りごとを鈴木さんに尋ねるようになりました。

マリアさん

「アノ……。アカちゃんのフクは、タカいですね。ヤスイフクは、ドコでかいますか？」

鈴木さん

「東松屋は、安い服が、たくさんありますよ。東松屋、知っていますか？」

通じていないようです。

鈴木さん

「いちど、一緒に行きましょうか？」

マリアさん

「ハイ、おネがいします」

鈴木さん

「マリアさんは、明日は、いいですか？」

マリアさん

「ハイ、ダイジョウブ」

鈴木さん

「じゃあ、明日、十時に、

私が、マリアさんの家に、行きますね」

二人は、すっかり「やさしい日本語」での会話に慣れてきたようです。

―― 抜く ―

たどたどしく、ゆっくり

ゆっくり、はっきり

ゆっくり、はっきり

ゆっくり、はっきり

ゆっくり、はっきり



⑧

ある日、鈴木さんが買い物に向かう途中、暗い顔を
したマリアさんが向こうから歩いてきました。

鈴木さん

「どうしたの？」

マリアさん

「パパは、ヨル、タクシーのシゴトでしょ。

だから、パパ、イマ、ネたいね。

アカちゃん、ナク。

だから、ワタシとアカちゃん、いつも サンポね」

公園のベンチに腰掛けると、

―― 抜きながら ――

マリアさんは堰^{せき}を切ったように泣き出してしまいま
した。

驚き、心配そうに

たどたどしく、ゆっくり



⑨

マリアさん

「アカちゃん、ずーっとナクでしょう？」

ワタシ、ヨルネる、できない。

ワタシ、ヒトリでしょ？

ダレ、テツダい、いないでしょ？

フィリピンは チガうよ。

ワタシのオカアサン、オトウト、オバアチャン、

イトコ、イトコのコドモたち、

ミナ、いるね」

鈴木さん

「そうよね……。」

マリアさん、疲れちゃう。一人だもんね……」

―― 抜きながら ――

と、そこへ

たどたどしく、ゆっくり



⑩

コウちゃん

「あつ！ 赤ちゃんだ！」

一人の男の子が駆け寄ってきました。

恵理さん

「コウちゃん、

汚れた手で赤ちゃんにさわったらダメよ」

恵理さんが追いかけてきて、二人に「すみません」と会釈します。

（間）

鈴木さんは、恵理さんと二言三言交わし、

鈴木さん

「そうだわ！ こちらのマリアさんを紹介するわ」

恵理さんは驚きます。

恵理さん

「ええっ！ 私、英語できないですよ……」

―― 抜く ―

元氣よく

戸惑って



⑪

鈴木さん

「恵理さん、大丈夫よ。
マリアさんは、日本語、少しわかるよね」

（間）

鈴木さん

「マリアさん、こちらは、えりさんとコウちゃん。
コウちゃんは、五歳です。
えりさんはね、看護師さんです」

マリアさん

「カンゴシ？」

鈴木さん

「うーん、病院で、働く」

マリアさん

「アア、ナース？」

鈴木さん

「そう！ ナース、『かんごし』ね」

恵理さんは、楽しそうな会話の様子を見て、「ああやって話せば、日本語だけでも大丈夫なんだ」と思いました。

―― 抜く ―

二人に呼びかけて

ゆっくり、はつきり

ゆっくり、はつきり

ゆっくり、はつきり



⑫

その後、鈴木さんはマリアさんをクリーニング店に連れて行きました。

鈴木さん

「マリアさん、私の友だち、李さんです。

李さんは中国人ですよ。

上の子はもう十六歳だっけ？」

李さん

「そうですよー。

このあいだ、高校受験、もう大変だったよ。

日本の受験、わからないし、

学校の手紙、読めないし」

鈴木さん

「そうなの。李さんほど日本語が上手になっても、まだまだ苦勞が多いのね」

李さん

「そうよ！ほんと、大変なのよ！

ねっ、マリアさん、お互い頑張ろうね！」

(間)

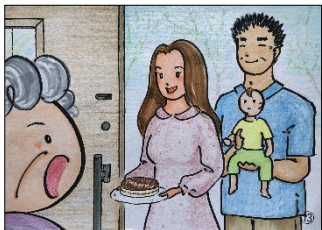
李さんが明るく話す姿を見て、マリアさんは気持ち少し上向きになりました。

—— ゆっくり抜く ——

ゆっくり、はっきり

つぶやく

陽気に



⑬

それからしばらくしたある秋晴れの日、鈴木さんの家に、マリアさん家族がやってきました。

マリアさん

「キョウ、ワタシ、タンジヨウビです！
これ、スズキさんに！」

なんと、ケーキを差し出しました。
夫の田中さんも説明します。

田中さん

「妻がお世話になっています。
フィリピンでは、誕生日の人が
食べ物をふるまうらしいんですよ」

マリアさんも嬉しそうに続けます。

マリアさん

「いつも タスけてくれて、ありがとう。
まえば、ニホンジン、ちよつとこわかった。
スズキさんは、やさしいね。
スズキさんのニホンゴ、ワタシ、わかる。
うれしかった」

(間)

マリアさん

「それにね、エリさんと、ときどき アソぶよ」

―― 抜く ――

はずんで

親しみをこめて

とても嬉しそうに



⑭

嬉しくなった鈴木さんは、さっそくケーキを持ってクリーニング店へ行きました。

鈴木さん

「こんにちは！」

マリアさんが、ご主人とケーキを持ってきてくれたの。

フィリピンでは、お誕生日の人がみんなにふるまうんですって！

一緒にいただきましょうよ！」

李さん

「わあ！ ありがとう。中国と同じね」

鈴木さん

「あらっ！ 知らなかったわ」

(間)

鈴木さんは、マリアさんが元気だった様子も伝えました。ゆっくり「やさしい日本語」で話すよう教えてもらったことも、感謝しました。

李さんも、「自分が苦労した経験が、誰かの役に立ったら嬉しい」と温かい気持ちになりました。

(おしまい)

●紙芝居● とのりのママは外国人！？

2018年10月25日 初版発行

2018年12月5日 第2版発行

脚本・絵 ピナット

発行 ピナット～外国人支援ともだちネット

〒181-0014

東京都三鷹市野崎 3-22-16 すぺーすはちのこ 2F

Tel:0422-34-5498 Fax:0422-32-9372

E-mail: pinattomitaka@gmail.com

URL: <http://pinatmitaka.wix.com/pinat>

facebook ページ: <https://www.facebook.com/pinattomitaka>

©ピナット 2018